



アイデア：Klaus Kreowski イラスト：Marcin Minor
 人数：2～6人 年齢：8才から 時間：約15分

Have fun with MACOCO !

森のイタズラっ子、マココ。マココと仲間たちが木の上で楽しく遊んでいます。カードの中にある一番多い仲間はどれかな?? いち早く見つけよう!

セット内容

カード：60枚



ゲームの準備

カードを良く混ぜ、裏向きに全てのプレイヤーへ1枚ずつ全てのカードを配り切ります。(プレイ人数により最初に配られる枚数が異なる場合がありますが、そのまま続けて下さい)

各プレイヤーは配られたカードを見ずに裏向きのまま山にして自分の前に置きます。

遊び方

誕生日が一番近くの人から始め、時計回りに進みます。

最初のプレイヤーは自分の山の一番上のカード1枚を取り、表向きにしてみんなに見えるようテーブルの真ん中へ置きます。

まずは、出されたカードをよく見て

▶▶▶▶ **一番数が多い** モチーフをいち早く探して叫ぼう!
 ヘビ?バナナ?マココ?

1. マココ(サル)

このカードにはマココが3匹、その他の動物、果物はそれより少ないので、一番数が多い、「マココ」といち早く叫んだ人が勝ち。

「サル」では無く「マココ」がこのゲームのルールです。



2. その他の動物や果物

例えば、このカード。オオハシが2匹、その他は1つだけ。一番数が多いのは???



正解は「オオハシ！」



次に、このカード。オオハシは2匹、ナマケモノ、マココは1匹、バナナが3本、マンゴーは1つ。正解は何か?

そう!「バナナ」

3. ナシ

このカードは何が一番多いかな?マココが2匹、マンゴーもバナナも2...
 あれ?一番多い物が無い(最大数の物が複数ある)その場合は、「ナシ(無し)！」といち早く叫びましょう。



4. 巨大ココナッツ登場

中心にキングサイズのココナッツが描かれたこのカード。この時には絶対に声を出してはいけません。声を出さずにいち早くカードにタッチした人のポイントになります。



ルール

ポイント獲得

正解したプレイヤーはポイントとしてそのカードを受け取り、自分の山に重ねずに表を向けて隣においておきましょう。

お手付き

間違った答えを叫んだプレイヤーはその回のゲームには参加できません。残ったその他のプレイヤーで勝負を続けましょう。

ポイント加算

正解が同時だったり、プレイヤー全員が間違った場合はそのカードはそのままにして、次のプレイヤーがその上に次のカードを重ねて続けましょう。次のゲームの勝者は重なった全てのカードをポイントとしてもらえます。(※次のポイントとせずに、横に置いてしまってもいいでしょう)

ゲームの終了

配られた全てのカードが無くなるとゲーム終了です。ゲーム終盤になると先に手持ちのカードが無くなるプレイヤーが出てきます。その場合はカードを出す順番を飛ばして進めますが、手持ちの山が無くなってもプレイには参加できます。最終的に一番多くのカードを集めたプレイヤーの勝利です。同点の場合はどちらも勝者となります。

オプションルール: マココの呼び名を変えてみよう

STEP1

通常ルールでプレイします。最初に「マココ」で正解したプレイヤーは、マココに変わる新しい名前を決めることができます。そこからこのターンではゲーム終了まで新しい名前でプレイをしなければなりません。

STEP2

さらに、マココが答えの時に毎回マココに新しい名前をつけてみよう。

1人のプレイヤーが「マココ」と叫んで正解しました。正解したプレイヤーはマココに代わる新しい名前を付けることができます。

例えば正解したプレイヤー新しい名前「モン吉」と名付けました。

以降のターンで「マココ」が答えの時は、「モン吉」と答えないと正解にはなりません。

次に「モン吉」で正解したプレイヤーは「モン吉」に代わる名前を決めて続けてゆきましょう。

STEP3

同様にマココ以外のカードでも種類を増やして名前を変えてゆくとより難しくなります。



輸入販売元：株式会社ブラザー・ジョルダン社
 〒631-0012 奈良市中山町 1512-1 www.brjordan.com